

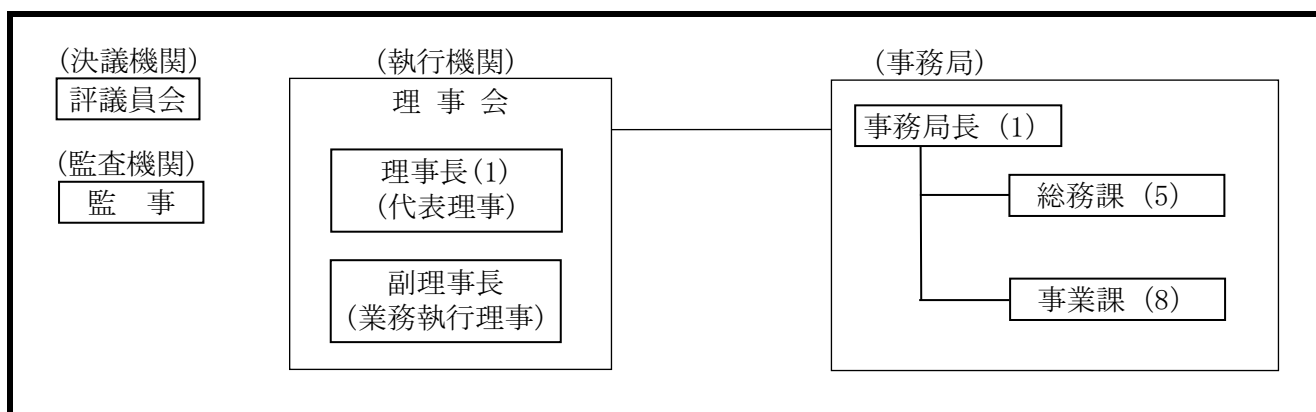
令和7年度 足立区勤労福祉サービスセンター 事業概要・収支決算説明書

1 概要説明

令和8年5月1日現在

名 称	公益財団法人 足立区勤労福祉サービスセンター
所 在 地	足立区千住一丁目5番7号 あだち産業センター2階
設立年月日 公益認定	平成2年4月2日 平成21年4月1日 公益財団法人
代 表 者	理事長 石鍋 敏夫
職員数（実員）	常勤8名・再任用(短)6名（派遣14名） 非常勤(兼職)1名 合計15名
基本財産	5億円

2 組織機構図



3 令和7年度経営方針と重点事項

【経営方針】

- 1 会員に魅力ある事業の実施と満足度の向上
- 2 会員の加入拡大
- 3 事業の見直しによる健全な財政運営の継続

【主な公益目的事業内容】

- 1 生活安定事業
 - (1) カード・回数券
 - (2) 産地直送
 - (3) 指定店
 - (4) 生活資金融資斡旋
- 2 健康管理・健康増進事業
 - (1) 健康診断（委託）補助
 - (2) 人間ドック補助
 - (3) スポーツ施設等チケット
- 3 自己啓発事業
 - (1) 講座・教室利用補助
 - (2) 美術展チケット
 - (3) 歌舞伎等鑑賞教室
 - (4) 図書カード
- 4 余暇活動事業
 - (1) 遊園施設チケット
 - (2) 宿泊施設等利用補助
 - (3) 観劇コンサート等各種チケット販売
- 5 生活産業広報紙発行事業
 - 「トキメキ」発行

【その他の事業内容】

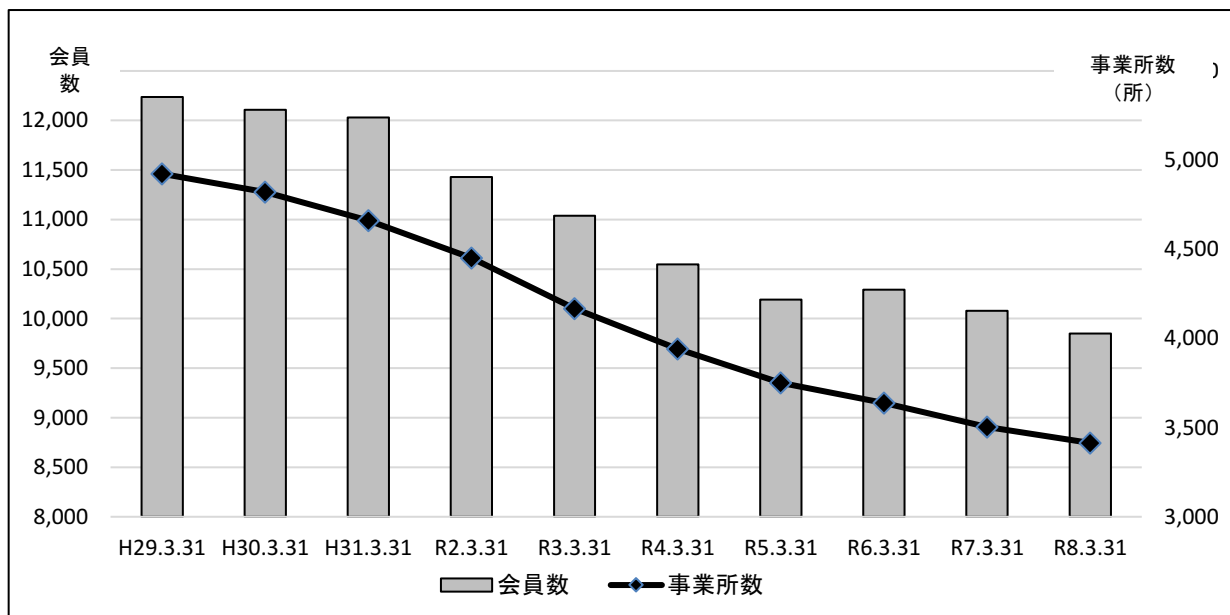
- 1 給付事業
 - 祝金・弔慰金等の給付

4 事業所数及び会員数の状況

4 事業所数及び会員数の状況

(1) 事業所数及び会員数

年月日	(単位：所)		会員数	(単位：人)		
	事業所数	増減数		入会数	退会数	増減数
H29.3.31	4,923	45	12,236	1,490	1,257	233
H30.3.31	4,820	△ 103	12,107	1,139	1,268	△ 129
H31.3.31	4,661	△ 159	12,029	1,187	1,265	△ 78
R2.3.31	4,452	△ 209	11,429	1,135	1,735	△ 600
R3.3.31	4,167	△ 285	11,040	811	1,200	△ 389
R4.3.31	3,942	△ 225	10,547	878	1,371	△ 493
R5.3.31	3,751	△ 191	10,192	901	1,256	△ 355
R6.3.31	3,638	△ 113	10,291	1,272	1,173	99
R7.3.31	3,503	△ 135	10,079	903	1,115	△ 212
R8.3.31	3,414	△ 89	9,850	963	1,192	△ 229



(2) 退会者の主な退会理由

(単位：人)

退会理由	令和6年度		令和7年度		増減	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
退職	741	66.5%	771	64.7%	+30	△1.8pt
死亡	27	2.4%	32	2.7%	+5	+0.3pt
廃業・倒産	77	6.9%	31	2.6%	△46	△4.3pt
区外移転	41	3.7%	26	2.2%	△15	△1.5pt
年齢75歳以上	0	0.0%	0	0.0%	+0	+0.0pt
経費削減のため	45	4.0%	57	4.8%	+12	+0.8pt
他のサービスに加入	1	0.1%	60	5.0%	+59	+4.9pt
会費が高い	3	0.3%	0	0.0%	△3	△0.3pt
魅力がない	11	1.0%	9	0.8%	△2	△0.2pt
利用しない	121	10.9%	155	13.0%	+34	+2.1pt
除名	8	0.7%	18	1.5%	+10	+0.8pt
その他	40	3.6%	33	2.8%	△7	△0.8pt
合計	1,115	100.0%	1,192	100.0%	+77	-

(3) 令和7年度 会員数拡大に向けた取り組み状況

- ア 新規事業所での入会者を入会金無料・キャンペーン期間中の会費無料とする新規事業所入会キャンペーン（9月～令和8年3月）を実施し、キャンペーンによる入会者数は422人（前年度比+89人）となった。
- イ 前年度マンガ形式にリニューアルした「入会キャンペーンチラシ」をさらに気軽に手に取ってもらえるよう、PRキャラクターのステッカーをチラシに添付したうえで、駅構内ラック・区内事業所等での配布、区内事業所団体等への訪問勧誘活動に活用した。また、ホームページ・SNS・トキメキ等での入会メリットの情報発信に努めた。
- ウ ビゅう商品券等の各種ギフトカード、キッザニア東京等の各種イベントチケットの販売、インフルエンザ予防接種費用補助、千住宿開宿400年足立区内共通商品券の特別販売など、割引率が高く人気の高い福利厚生事業を積極的に実施した。
- エ 令和7年度入会者数は前年度を上回る963人となったが、前年度に引き続き退会者数が入会者数を上回り、会員数は前年度比で229人減少し、9,850人となった。今後も会員数拡大に向けた取り組みを拡充継続し、入会者数の増加に努めていく。

5 決算剰余金について

(1) 公益目的事業会計における剰余金の状況（令和5年度末現在）

会計年度	剰余金額	主な理由
令和2年度	3,473,901円	コロナ禍により実施事業が減少したため
令和3年度	4,553,329円	コロナ禍により実施事業が減少したため
令和4年度	3,252,161円	生活産業広報紙発行事業の広告収益が増加したため
令和5年度	3,000,686円	生活産業広報紙発行事業の広告収益が増加したため
合計	14,280,077円	

(2) 剰余金の解消計画（令和6～8年度の3か年計画）

令和6年度より解消計画に基づき取り組んでいる。令和8年度も引き続き下記の取り組みを実施し、公益目的事業会計において赤字決算を計上することで剰余金を解消していくこととしている。なお、令和7年度末の剰余金解消率は77.2%であり、令和8年度中に解消見込みである。

ア 会計マネジメントの強化

公益目的事業会計の決算額は様々な要因で増減するため、四半期ごとに決算見込み額を算出し、剰余金が適切に解消される決算額となるよう、特別還元事業を適宜調整して実施していく。

イ 会員数拡大の取り組みの強化

福利厚生サービスの利用者数を増やすことで事業予算の執行を加速させ、剰余金解消の一助とする。このため、入会キャンペーンの実施、ホームページ・SNS・生活産業広報紙「トキメキ」等での情報発信、駅構内ラックや区内事業所等でのチラシ配布、職員による区内事業所団体等への訪問勧誘活動を引き続き強化していく。

ウ 特別還元事業の実施

特別還元事業を実施し、剰余金の解消を図っていく。またこれにより、会員満足度の向上による既存会員の退会防止と、新規会員の拡大につなげていく。

なお、事業実施に当たっては、過去に人気の高い品目や演目を取り入れ、会員ニーズや売れ行きに応じて販売額や販売数を変更して実施していく。

5 決算剰余金について

(3) 令和7年度決算における剰余金の解消状況

項目	内容	金額
福利厚生事業の収支	積極的な事業実施に努めた結果、経費が収益を上回った。	△6,764,773円
生活産業広報紙「トキメキ」発行事業の収支	広告収益が好調のため、収益が経費を上回った。	40,882円
給付金事業会計からの振替額	給付金事業収益が経費を上回ったことに伴う法定振替額	1,084,488円
合 計		△5,639,403円

※（参考）決算資料における剰余金の解消額

公益目的事業会計の当期一般正味財産増減額の数値が剰余金の解消額となります。

(4) 剰余金の解消予定

年度	目標決算額	剰余金解消額 (R8のみ見込み)	剰余金残額
令和5年度末	—	—	14,280,077円
令和6年度末	△6,962,000円	△5,394,262円	8,885,815円
令和7年度末	△4,500,815円	△5,639,403円	3,246,412円
令和8年度末	△3,246,412円	△3,246,412円	0円

(5) 令和7年度 特別還元事業の実施状況

No.	項目	区分	収益	費用	収益－費用	内容
1	各種ギフトカード	当初予算額	7,060,000円	8,057,000円	△997,000円	すかいらーく優待券、スターバックスカード、KFCカード 等
		決算額	11,845,000円	14,396,250円	△2,551,250円	
2	千住宿開宿400年足立区内共通商品券	当初予算額	0円	0円	0円	千住宿開宿400年記念事業として特別価格で販売
		決算額	1,600,000円	2,000,000円	△400,000円	
3	各種イベントチケット	当初予算額	5,052,000円	5,986,000円	△934,000円	キッザニア東京、アソビュー！ギフトカード、すみだ水族館 等
		決算額	5,892,800円	7,583,930円	△1,691,130円	
4	「足立の花火」有料席	当初予算額	490,000円	633,000円	△143,000円	開催中止に伴いチケット払い戻し 経費は発券手数料
		決算額	0円	38,500円	△38,500円	
5	東武動物公園1日フリーパス	当初予算額	9,000,000円	10,500,000円	△1,500,000円	特別価格にて販売
		決算額	7,840,000円	9,240,000円	△1,400,000円	
6	あっせん日帰りバスツアー・東京湾クルーズ	当初予算額	0円	612,000円	△612,000円	日帰りバスツアー3回、東京湾ランチクルーズ2回実施
		決算額	0円	661,600円	△661,600円	
7	ディズニー・ホテル・バンケットランチプラン	当初予算額	1,008,000円	1,626,000円	△618,000円	R7.11.28実施 96名参加
		決算額	917,400円	1,527,400円	△610,000円	
8	インフルエンザ予防接種費用補助	当初予算額	0円	1,000,000円	△1,000,000円	1回1,000円×1,048回分を補助
		決算額	0円	1,048,000円	△1,048,000円	
合計		当初予算額	22,610,000円	28,414,000円	△5,804,000円	
		決算額	28,095,200円	36,495,680円	△8,400,480円	

(6) 令和8年度 特別還元事業（予定）予算額（参考：令和7年度実績との比較）

※ 下記令和8年度の額は当初予算額であり、執行に当たっては、事業計画変更等により、人気事業の販売数を増やし、新規事業を実施する等、特別還元事業の積極的な実施に努めていく。

No.	項目	年度	収益	費用	収益－費用	令和８年度実施予定
1	各種ギフトカード	令和７年度	11,845,000円	14,396,250円	△2,551,250円	前年度好評のびゅう商品券、すかいらく優待券を拡充し、新規にミスタードーナツカードを特別価格で販売
		令和８年度	10,035,000円	11,430,000円	△1,395,000円	
		増減	△1,810,000円	△2,966,250円	1,156,250円	
2	各種イベントチケット	令和７年度	5,892,800円	7,583,930円	△1,691,130円	前年度人気のアソビュー！ギフトカード、温泉＆食事チケットを拡充して販売し、人気のすみだ水族館は通年販売に変更
		令和８年度	5,937,000円	7,042,000円	△1,105,000円	
		増減	44,200円	△541,930円	586,130円	
3	「足立の花火」有料席	令和７年度	0円	38,500円	△38,500円	150席（前年度比50席増）を特別価格で販売
		令和８年度	765,000円	958,000円	△193,000円	
		増減	765,000円	919,500円	△154,500円	
4	ディズニー・ホテル・ランチプラン	令和７年度	917,400円	1,527,400円	△610,000円	東京ディズニーリゾート内ホテルでの食事とキャラクターとのグリーティングを楽しむランチ会
		令和８年度	1,575,000円	1,960,000円	△385,000円	
		増減	657,600円	432,600円	225,000円	
5	あっせん日帰りバスツアー・東京湾クルーズ	令和７年度	0円	661,600円	△661,600円	バスツアーは３回、クルーズは下記２回実施。 5月：気候の良い連休中の東京湾一周とランチ 11月：東京湾の夜景を楽しむディナー
		令和８年度	0円	720,000円	△720,000円	
		増減	0円	58,400円	△58,400円	
6	映画鑑賞チケット	令和７年度	6,033,500円	6,973,500円	△940,000円	ＴＣチケット（TOHOシネマ）を特別価格で販売
		令和８年度	6,060,000円	8,140,000円	△2,080,000円	
		増減	26,500円	1,166,500円	△1,140,000円	
合計		令和７年度	24,688,700円	31,181,180円	△6,492,480円	
		令和８年度	24,372,000円	30,250,000円	△5,878,000円	
		増減	△316,700円	△931,180円	614,480円	

6 令和7年度の主な公益目的事業等詳細内容

6 令和7年度の主な公益目的事業等詳細内容

(1) 生活安定事業

決算額（単位：円）		令和6年度 (A)	令和7年度 (B)	増減(B-A)
		38,570,376	46,006,541	7,436,165
主な内容		令和6年度 実績(C)	令和7年度 実績(D)	増減(D-C)
ア	クオカードの販売 (R6 @4,950×仕入数1,500枚、送料2,310円) (R7 @4,950×仕入数1,500枚、送料2,310円)	1,586 枚	1,411 枚	△ 175 枚
	決算額（単位：円）	7,427,310	7,427,310	0
	【内容】「クオカード（コンビニ等の加盟店で利用できるプリペイドカード）」を会員価格で販売。 【増減理由】利用実績は令和6年度より若干減少した。なお、令和7年度は前年度と同数を購入したため、決算額に増減はない。 【繰越数】 6年度繰越数 7年度購入数 7年度販売数 8年度繰越数 クオカード 167枚 1,500枚 1,411枚 256枚			
イ	区内共通商品券の販売 (R6 @5,000×仕入数1,600セット) (R7 @5,000×仕入数1,500セット)	1,560 セット	1,447 セット	△ 113 セット
	決算額（単位：円）	8,000,000	7,500,000	△ 500,000
	【内容】「足立区内共通商品券（足立区内の加盟店で利用できる商品券）」を会員価格で販売。 【増減理由】利用実績は前年度より減少し、新規購入数も減らした結果、決算額は減少した。 【繰越数】 6年度繰越数 7年度購入数 7年度販売数 8年度繰越数 区内共通商品券 300セット 1,500セット 1,447セット 353セット			
ウ	コミュニティバス回数券の販売 (R6 @1,940×仕入数100冊)	188 冊	廃止	△ 188 冊
	決算額（単位：円）	194,000	0	△ 194,000
	【内容】コミュニティバス「はるかぜ」回数券（新日本観光自動車）を会員価格で販売。 【増減理由】バス会社の回数券の取扱いが終了したため、令和6年8月末をもって販売終了。			
エ	スターバックスカードの販売 (R6 @8,000×仕入数500枚) (R7 @8,000×仕入数500枚)	500 枚	500 枚	0 枚
	決算額（単位：円）	4,000,000	4,000,000	0
	【内容】スターバックスカード（スターバックスで利用できるプリペイドカード）を会員価格で販売。 【増減理由】人気事業のため、令和7年度も200枚募集し、応募多数につき販売数を500枚に増やし、完売した。			
オ	コメダ珈琲店「KOMECA（コメカ）」の販売 (R6 @2,925×仕入数200枚) (R7 @2,925×仕入数250枚)	200 枚	250 枚	50 枚
	決算額（単位：円）	585,000	731,250	146,250
	【内容】コメダ珈琲店 KOMECA（コメカ）（コメダ珈琲店で利用できるプリペイドカード）を会員価格で販売。 【増減理由】人気事業のため、令和7年度も200枚募集し、応募多数につき販売数を250枚に増やし、完売した。			

※本項における「決算額」は支出額を表す。

6 令和7年度の主な公益目的事業等詳細内容

主な内容		令和6年度 実績(C)	令和7年度 実績(D)	増減(D-C)
カ	びゅう商品券の販売 (R6 @10,000×仕入数266セット) (R7 @10,000×仕入数200セット)	266 セット	200 セット	△ 66 セット
	決算額(単位:円)	2,660,000	2,000,000	△ 660,000
	【内容】びゅう商品券(ルミネ北千住店等で利用できる商品券)を会員価格で販売。 【増減理由】令和6年度新規販売品目として試行的に販売し、266セットを販売した。令和7年度も継続し、200セットを販売した。			
キ	吉野家プリカの販売 (R7 @2,850×仕入数400枚)	未実施	400 枚	400 枚
	決算額(単位:円)	0	1,140,000	1,140,000
	【内容】吉野家プリカ(全国の吉野家店舗で利用できるプリペイドカード)を会員価格で販売。 【増減理由】令和7年度新規品目として販売し、募集数を上回る申し込みがあったため、400枚に拡充して販売した。			
ク	すかいらーくご優待券の販売 (R7 @2,850×仕入数500枚)	未実施	500 セット	500 セット
	決算額(単位:円)	0	1,425,000	1,425,000
	【内容】すかいらーくご優待券(すかいらーくグループ各店舗で利用できる商品券)を会員価格で販売。 【増減理由】令和7年度新規品目として販売し、募集数を上回る申し込みがあったため、500セットに拡充して販売した。			
ケ	KFCカードの販売 (R7 @2,850×仕入数400枚)	未実施	400 枚	400 枚
	決算額(単位:円)	0	1,140,000	1,140,000
	【内容】KFCカード(ケンタッキー・フライド・チキン各店舗で利用できるプリペイドカード)を会員価格で販売。 【増減理由】令和7年度新規品目として販売し、募集数を上回る申し込みがあったため、400枚に拡充して販売した。			
コ	千住宿開宿400年 区内共通商品券の販売 (R7 @5,000円×仕入数400セット)	未実施	400 セット	400 セット
	決算額(単位:円)	0	2,000,000	2,000,000
	【内容】千住宿開宿400年を記念する特別事業として、「足立区内共通商品券(足立区内の加盟店で利用できる商品券)」を特別価格で販売。 【増減理由】新規実施による増。400セット限定で販売し完売した。			
サ	こども商品券の販売 (R7 @9,800×仕入数200セット)	未実施	200 セット	200 セット
	決算額(単位:円)	0	1,960,000	1,960,000
	【内容】こども商品券(おもちゃ、子供服等を購入できる商品券)を会員価格で販売。 【増減理由】令和7年度新規品目として販売し、完売した。			
シ	クオカードP a yの販売 (R7 @10,000×仕入数200コード)	未実施	200 コード	200 コード
	決算額(単位:円)	0	2,000,000	2,000,000
	【内容】クオカードP a y(加盟店舗で利用できる電子マネー)を会員価格で販売。 【増減理由】令和5年度実施したが、令和6年度は他のギフトカードの販売品目を増やすため未実施。令和7年度再販売し、完売した。			

6 令和7年度の主な公益目的事業等詳細内容

主な内容		令和6年度 実績(C)	令和7年度 実績(D)	増減(D-C)
ス	サーティワン アイスギフト券の販売 (R6 @475×仕入数1,584枚)	500 セット	未実施	△ 500 セット
	決算額(単位:円)	752,400	0	△ 752,400
	【内容】サーティワン アイスギフト券(特定店舗で利用できるプリペイドカード)を会員価格で販売。 【増減理由】令和6年度は500セット販売し、完売した。令和7年度は他の販売品目を優先し未実施。なお、令和8年度は通年販売で再開する予定。			
セ	選べるフルーツギフトカードの販売 (R6 @5,500×仕入数24枚、送料770円)	24 枚	未実施	△ 24 枚
	決算額(単位:円)	132,770	0	△ 132,770
	【内容】選べるフルーツギフトカード(WEBカタログの中からフルーツを購入できるプリペイドカード)を会員価格で販売。 【増減理由】令和6年度試行的に販売したが、人気が薄かったため、令和7年度未実施。			
ソ	選べるクラフトビール5000の販売 (R6 @4,500×仕入数39枚)	39 枚	未実施	△ 39 枚
	決算額(単位:円)	175,500	0	△ 175,500
	【内容】選べるクラフトビールギフトカード(WEBカタログの中からクラフトビールを購入できるプリペイドカード)を会員価格で販売 【増減理由】令和6年度試行的に販売したが、人気が薄かったため、令和7年度未実施。			
タ	PPIHグループ共通ギフトカードの販売 (R6 @10,000×仕入数228セット)	228 セット	未実施	△ 228 セット
	決算額(単位:円)	2,280,000	0	△ 2,280,000
	【内容】PPIHグループ共通ギフトカード(ドン・キホーテ等で利用できるギフトカード)を会員価格で販売。 【増減理由】令和6年度試行的に販売し一定の人気を博したが、他の新規販売品目を優先し、令和7年度未実施。			
チ	産地直送・味の宅配便のあっせん	2,451 口	2,349 口	△ 102 口
	決算額(単位:円)	12,339,857	14,646,362	2,306,505
	【内容】新茶、メロン、梨などの四季折々の果物などを産地から直送する。 【増減理由】令和7年度は品質管理が困難なため、さくらんぼの取り扱いを中止して実施。前年度と同程度の販売数となり、特に魚沼産コシヒカリの人気が高かった。販売商品の値上げにより決算額は増加した。			
ツ	生活資金融資あっせん	4 件	3 件	△ 1 件
	決算額(単位:円)	23,539	36,619	13,080
	【内容】会員が指定金融機関で生活資金(教育・住宅資金等)として融資を受ける際の信用保証料をセンターが負担する。(信用保証料は融資残高に応じて支払うため、新規融資が0件でも支出が発生する) 【増減理由】令和6年度の融資実績は3件であった。			
テ	指定店	81 店	88 店	7 店
	決算額(単位:円)	0	0	0
	【内容】指定店契約を締結した事業所において、会員証提示により割引価格でサービスを利用できる。 【増減理由】生活産業広報紙や会報誌で新規指定店を積極的に募集した結果、7店増となった。			

(2) 健康維持増進事業

決算額（単位：円）		令和6年度 (A)	令和7年度 (B)	増減(B-A)
		22,836,380	21,400,580	△ 1,435,800
主な内容		令和6年度 実績(C)	令和7年度 実績(D)	増減(D-C)
ア	健康診断利用補助 (R6 会員@5,000×1,732人、家族@3,000×43人) (R7 会員@5,000×1,640人、家族@3,000×36人)	1,775 人	1,676 人	△ 99 人
	決算額（単位：円）	8,789,000	8,308,000	△ 481,000
	【内容】 契約病院での健康診断受診時、会員は会員価格から補助金を差し引いた料金で受診できる。契約病院には後日センターから受診実績に応じた補助金を支払う。 【増減理由】 健康診断受診希望者の減。			
イ	人間ドック利用補助 (R6 会員@5,000×38人、家族@3,000×11人) (R7 会員@5,000×44人、家族@3,000×8人)	49 人	52 人	3 人
	決算額（単位：円）	223,000	244,000	21,000
	【内容】 契約病院での人間ドック受診時、会員は会員価格から補助金を差し引いた料金で受診できる。契約病院には後日センターから受診実績に応じた補助金を支払う。 【増減理由】 人間ドック受診希望者の増。			
ウ	日曜健康診断 (R6 基本 @8,800×45人 基本・胃 @17,600×9人 基本・ペプシソーゲン @11,550×17人) (R7 会員@5,000×36人、家族@3,000×12人)	71 人	60 人	△ 11 人
	決算額（単位：円）	750,750	216,000	△ 534,750
	【内容】 平日に健康診断を受診する機会がない会員のため、5月の指定日曜日（3日間）に指定契約病院において、補助金を差し引いた価格で健康診断を受診できる。 【増減理由】 受診希望者の減。なお、令和6年度までは年1回会員価格で集団健康診断を実施してきたが、令和7年度より、指定病院にて健康診断を受診時に補助金を支出する形式に事業を変更した。			
エ	インフルエンザ予防接種費用補助 (R6 @1,000×1,079人) (R7 @1,000×1,048人)	1,079 人	1,048 人	△ 31 人
	決算額（単位：円）	1,079,000	1,048,000	△ 31,000
	【内容】 会員又は家族がインフルエンザ予防接種を受ける費用に1回1,000円を補助する。1会員につき会員又は家族の接種回数を合計して、2回まで申請できる。 【増減理由】 11月中旬予算額の上限に達したため終了。1,000件を超えた日の当日消印有効で締め切ったため、補助数は1,048件となった。			
オ	健康ランド利用補助	6,935 枚	6,955 枚	20 枚
	決算額（単位：円）	2,093,600	2,119,160	25,560
	【内容】 契約施設利用時、会員は会員価格から補助金を差し引いた料金で利用できる。契約施設には後日センターから利用実績に応じた補助金を支払う。 【増減理由】 前年度と同程度の利用数となった。なお、通常の補助額は1回300円であるが、ゴールデンウィーク等特定期間に値上げした施設があり、会員の利用価格が上昇しないようその期間中のみ差額分を増額補助したため、決算額が増加した。			

6 令和7年度の主な公益目的事業等詳細内容

	主な内容	令和6年度 実績(C)	令和7年度 実績(D)	増減(D-C)
カ	スポーツクラブ利用券の販売 (R6 6施設) (R7 5施設)	1,623 枚	1,491 枚	△ 132 枚
	決算額(単位:円)	2,046,000	1,826,000	△ 220,000
	【内容】法人契約を締結したスポーツクラブで利用できる利用券を会員価格で販売。 【増減理由】利用者数の減少。			
キ	足立区内共通公衆浴場回数券の販売 (R6 @5,170×69冊 @5,500×1,034冊 【R6.7～価格変更】) (R7 @5,500×60冊 @5,940× 883冊 【R7.7～価格変更】)	1,103 冊	943 冊	△ 160 冊
	決算額(単位:円)	6,043,730	5,575,020	△ 468,710
	【内容】「足立区内共通公衆浴場回数券(足立区内の公衆浴場で利用可)」を会員価格で販売。 【増減理由】仕入額の値上げに伴い販売額を値上げしたことも影響し、公衆浴場利用者数が減少したと考える。			
ク	ゴルフ練習場プリペイドカードの販売 (R6 @5,000×仕入数124枚) (R7 @5,000×仕入数176枚)	124 枚	176 枚	52 枚
	決算額(単位:円)	620,000	880,000	260,000
	【内容】法人契約を締結したゴルフ場で利用できる会員価格のプリペイドカードを販売。 【増減理由】利用者数の増加。			
ケ	区営体育館・プール利用回数券の販売 (R6 @5,000×仕入数100セット) (R7 @5,000×仕入数150セット)	119 セット	135 セット	16 セット
	決算額(単位:円)	500,000	750,000	250,000
	【内容】足立区営体育館・プール等で利用できる回数券を会員価格で販売。 【増減理由】身近な健康維持活動の場として、区営体育館・プール等の利用が伸びていることが要因と考え る。 【繰越数】 区営体育館・プール利用回数券 6年度繰越数 7年度購入数 7年度販売数 8年度繰越数 46セット 150セット 135セット 61セット			
コ	スキー場リフト券の販売	145 枚	89 枚	△ 56 枚
	決算額(単位:円)	691,300	434,400	△ 256,900
	【内容】法人契約を締結した5カ所のスキー場で利用できるリフト券を会員価格で販売。 【増減理由】レジャー志向の多様化に伴い、販売数が減少したものとする。			

(3) 老後生活安定事業

決算額（単位：円）		令和6年度 (A)	令和7年度 (B)	増減(B-A)
		881,447	165,000	△ 716,447
主な内容		令和6年度 実績(C)	令和7年度 実績(D)	増減(D-C)
ア	ライフプランセミナーの実施 (R6 講演料880,000円＋講師用水等1,447円) (R7 講演料165,000円)	102 人	28 人	△ 74 人
	決算額（単位：円）	881,447	165,000	△ 716,447
	【内容】 中高年層向けのキャリアデザインを支援するライフプランセミナーの実施。 【増減理由】 令和6年度は特別還元事業として著名人による講演会を実施し例年より参加者が多かった。 令和7年度は、公認心理士／臨床心理士による講演会「じぶんと向き合う時間～人生の節目に、悩みを力に変えるヒント～」を実施した。（R7.9.26（金））。			

6 令和7年度の主な公益目的事業等詳細内容

(4) 自己啓発事業

決算額（単位：円）		令和6年度 (A)	令和7年度 (B)	増減(B-A)
		8,284,435	8,691,966	407,531
主な内容		令和6年度 実績(C)	令和7年度 実績(D)	増減(D-C)
ア	文化教養講座、資格取得等利用補助 (R6文化教養@3,000×17人、資格試験@3,000円×56人、 放送大学@18,000×1人、12,000×1人、9,000×2人) (R7文化教養@3,000×13人、資格試験@3,000円×58人、 放送大学@18,000×2人)	77 人	73 人	△ 4 人
	決算額（単位：円）	267,000	249,000	△ 18,000
	【内容】文化教養講座、資格取得、放送大学、NHK学園生涯学習通信講座等の受講料・利用料に補助金を支払う。 【増減理由】文化教養講座等の利用数が減少したため。			
イ	美術展・展覧会チケットの販売	2,023 枚	2,096 枚	73 枚
	決算額（単位：円）	3,291,735	4,019,366	727,631
	【内容】都内美術館等で利用できる「ぐるっとパス」及び各種展覧会チケットを会員価格で販売。 【増減理由】魅力のある美術展・展覧会の開催数が増加し、チケット販売数が増加したことによるもの と考える。			
ウ	歌舞伎等鑑賞教室 (R6 歌舞伎@3,800×24枚、能楽@3,200×10枚、 文楽@3,800×16枚) (R7 歌舞伎@4,500×13枚、能楽@3,200×17枚、 文楽@4,000×18枚)	50 枚	48 枚	△ 2 枚
	決算額（単位：円）	184,000	184,900	900
	【内容】歌舞伎・文楽・能楽鑑賞教室チケットを会員価格で販売。 【増減理由】仕入額の値上げに伴い販売額も値上げしたこともあり、利用者数が減少したと考える。 なお、販売数は減少したが、仕入価格の値上げにより決算額は増加した。			
エ	図書カードの販売 (R6 @2,931×仕入数1,500枚) (R7 @2,931×仕入数1,400枚)	1,735 枚	1,512 枚	△ 223 枚
	決算額（単位：円）	4,396,500	4,103,400	△ 293,100
	【内容】「図書カードNEXT（取扱書籍販売店で利用できるプリペイドカード）」を会員価格で販売。 【増減理由】図書カード利用者の減少に伴う販売数の減。 【繰越数】 6年度繰越数 7年度購入数 7年度販売数 8年度繰越数 図書カード 593枚 1,400枚 1,512枚 481枚			
オ	新入・若手社員研修の実施 (R6 研修実施費用 115,500円、テキスト代 29,700円) (R7 研修実施費用 115,500円、テキスト代 19,800円)	10 人	8 人	△ 2 人
	決算額（単位：円）	145,200	135,300	△ 9,900
	【内容】新入・若手社員向け研修会の実施（R7.4.24（木）実施）。 【増減理由】人手不足等中小企業を取り巻く状況が厳しい中、新入・若手社員数が減少していることが要因と 考える。			

(5) 余暇活動事業

決算額（単位：円）		令和6年度 (A)	令和7年度 (B)	増減(B-A)
		69,552,933	71,457,436	1,904,503
主な内容		令和6年度 実績(C)	令和7年度 実績(D)	増減(D-C)
ア	東京ドームシティ「得10チケット」の販売 (R6 年会費 264,000円、チケット@2,900×仕入数831冊) (R7 年会費 264,000円、チケット@3,500×仕入数518冊)	831 冊	518 冊	△ 313 冊
	決算額（単位：円）	2,673,900	2,077,000	△ 596,900
	【内容】東京ドームシティ各施設で利用できるチケットを会員価格で販売。 【増減理由】チケットの値上げに伴い利用者が減少したものとする。			
イ	東武動物公園入園券の販売 (R6 @3,300×仕入数2,000枚) (R7 @3,300×仕入数2,800枚)	2,000 枚	2,798 枚	798 枚
	決算額（単位：円）	6,600,000	9,240,000	2,640,000
	【内容】東武動物公園入園チケットを会員価格で販売。 【増減理由】特別還元事業として販売額を値下げ（販売額2,800円・前年度比△200円）したところ、利用が増加したものとする。			
ウ	西武園ゆうえんちチケットの販売 (R6 1口@440,000×2口+@220,000×1口) (R7 1口@440,000×2口)	250 枚	200 枚	△ 50 枚
	決算額（単位：円）	1,100,000	880,000	△ 220,000
	【内容】西武園ゆうえんち「一日レジャー切符」を会員価格で販売。 【増減理由】販売開始後4年目を迎え、リピーターの減少により売れ行きが落ちてきたため200枚で販売終了。			
エ	スパリゾートハワイアンズ入場券の販売 (R6 1口@825,000×2口（入場券2,920枚）) (R7 1口@825,000×2口（入場券2,920枚）)	1,915 枚	2,098 枚	183 枚
	決算額（単位：円）	1,650,000	1,650,000	0
	【内容】スパリゾートハワイアンズ入場券を会員価格で販売。 【増減理由】他リゾート施設より販売価格が安価（900円）のため人気が高く、販売数は増加した。 なお、販売枚数は法人契約の範囲内のため、決算額は増加していない。			
オ	指定レジャー施設利用補助 (R6 @300×1,812枚) (R7 @300×1,492枚、@400×92枚)	1,812 枚	1,584 枚	△ 228 枚
	決算額（単位：円）	543,600	484,400	△ 59,200
	【内容】15カ所の契約レジャー施設利用時、会員は会員価格から補助金を差し引いた料金で利用できる。契約レジャー施設には後日センターから利用実績に応じた補助金を支払う。 【増減理由】余暇活動が多様化したことにより利用が減少したものと推察する。なお、通常の補助額は300円であるが、年度中に入場料を値上げした施設のみ、会員の負担を軽減するため補助額を400円とした。			
カ	東京ディズニーリゾートコーポレートプログラム利用券 (R6 @1,000×3,142枚) (R7 @1,000×3,183枚)	3,142 枚	3,183 枚	41 枚
	決算額（単位：円）	3,142,000	3,183,000	41,000
	【内容】東京ディズニーリゾートのチケット購入時に補助金を差し引いた価格でチケットを購入できる利用券を会員に交付。後日、利用者分の補助金を東京ディズニーリゾートに支払う。 【増減理由】東京ディズニーリゾートの人気の高まりにより、利用者が増加したものとする。			

6 令和7年度の主な公益目的事業等詳細内容

主な内容		令和6年度 実績(C)	令和7年度 実績(D)	増減(D-C)
キ	食事チケット	1,029 枚	1,074 枚	45 枚
	決算額(単位:円)	673,700	774,530	100,830
	【内容】契約したホテル等レストランにおいて、食事チケットを提示し補助金を差し引いた価格で食事を楽しむ。契約レストランには後日センターから利用実績に応じた補助金を支払う。 【増減理由】余暇活動の多様化に伴い、利用が伸びたものと考え。			
ク	日本料理店加賀屋 銀座店 食事券 (R6 @8,300×70人)	70 人	未実施	△ 70 人
	決算額(単位:円)	581,000	0	△ 581,000
	【内容】地震により被災した石川県の応援企画として、「日本料理店加賀屋 銀座店」において、特別価格で食事を楽しめる食事券を販売。 【増減理由】令和6年度被災地支援のため実施したが、令和7年度は未実施。			
ケ	宿泊施設利用補助 (R6 @2,000×2,593泊) (R7 @2,000×2,599泊)	2,593 泊	2,599 泊	6 泊
	決算額(単位:円)	5,186,000	5,198,000	12,000
	【内容】国内外での宿泊費(1泊2,000円以上)を対象に、1泊2,000円(年間2泊まで)の補助金を支給する。 【増減理由】前年度と同程度となった。			
コ	会員制リゾート施設利用 (R6 施設管理委託料・修繕費 0円) (R7 施設管理委託料・修繕費 576,000円)	86 件	37 件	△ 49 件
	決算額(単位:円)	0	576,000	576,000
	【内容】会員制リゾート施設「ザ グラン リゾート」(国内19施設)を会員価格で利用できる。 【増減理由】余暇活動の多様化により利用が減少したものと推察する。 なお、施設管理委託料・修繕費(暦年1年分)の支払いを令和7年1月払いから令和7年4月払いに変更したことにより、令和6年度としては支出がなかった。			
サ	あっせん日帰りバスツアー (R6 3回実施 会員@2,000×109人、家族@1,000×74人) (R7 3回実施 会員@2,000×66人、家族@1,000×37人 会員@3,000×59人、家族@1,500×41人)	210 人	246 人	36 人
	決算額(単位:円)	292,000	407,500	115,500
	【内容】あっせん日帰りバスツアーを募集し、参加会員は補助金を差し引いた価格で参加できる。後日、契約会社の請求に基づき、割引価格分の補助金を契約施設に支払う。 【増減理由】令和7年度は3回実施し、参加者数は増加した。なお、第2回は特別還元事業として補助額を増額して実施し、経費は増加した。なお、実績値の参加者数(R6:210人、R7:246人)には、会員以外の関係者(補助対象外)を含む。			
シ	東京湾ランチクルーズ (R7 2回実施 会員@3,300×28人、家族@3,300×49人)	未実施	85 人	85 人
	決算額(単位:円)	0	254,100	254,100
	【内容】東京湾ランチクルーズツアーを募集し、参加会員は補助金を差し引いた価格で参加できる。後日、契約会社の請求に基づき、割引価格分の補助金を契約施設に支払う。 【増減理由】令和7年度新規事業として実施し、好評だったため追加で2回目を実施した。なお、実績値の参加者数(R7:85人)には、会員以外の関係者(補助対象外)を含む。			

6 令和7年度の主な公益目的事業等詳細内容

主な内容		令和6年度 実績(C)	令和7年度 実績(D)	増減(D-C)
ス	温泉&食事チケットの販売 (R6 @3,900×仕入数350枚)	350 枚	事業統合	△ 350 枚
	決算額(単位:円)	1,365,000	0	△ 1,365,000
	【内容】選べる宿泊施設で日帰り入浴と食事が楽しめるチケットの販売。 【増減理由】「各種イベントチケット」事業への事業統合による皆減。			
セ	プロ野球チケットの販売 (R6@5,800×仕入数71枚、@5,900×仕入数40枚)	111 枚	事業統合	△ 111 枚
	決算額(単位:円)	647,800	0	△ 647,800
	【内容】東京ドームでのプロ野球「読売ジャイアンツ」観戦チケットの販売。 【増減理由】「各種スポーツ観戦チケット」事業への事業統合による皆減。			
ソ	各種スポーツ観戦チケットの販売	224 枚	430 枚	206 枚
	決算額(単位:円)	1,386,275	2,305,210	918,935
	【内容】プロ野球、大相撲、サッカーJリーグ等の各種スポーツ観戦チケットの販売。 【増減理由】「プロ野球チケット」事業との事業統合による増。合わせて、プロ野球、大相撲、バスケットBリーグチケット等の取扱い枚数の増加により、販売数及び決算額が増加した。			
タ	国立演芸場入場券の販売 (R6 @1,760×利用実績数11枚) (R7 @1,840×利用実績数27枚)	11 枚	27 枚	16 枚
	決算額(単位:円)	19,360	49,680	30,320
	【内容】国立演芸場入場券の販売。 【増減理由】国立演芸場整備中のため代替会場開催による特別感や、伝統芸能への関心の高まりにより、販売数が増加したものとする。			
チ	潮干狩り券の販売 (R6 大人@1,800×販売実績数345枚、小人@900×販売実績数108枚) (R7 大人@2,000×販売実績数292枚、小人@1,000×販売実績数80枚)	453 枚	372 枚	△ 81 枚
	決算額(単位:円)	718,200	664,000	△ 54,200
	【内容】千葉県木更津市の海岸で潮干狩りを楽しめる入場券の販売。 【増減理由】家族で楽しめるレジャー活動の多様化と、値上げに伴い、利用が減少したものとする。			
ツ	ジェフグルメカードの販売 (R6 @2,928×仕入数4,000セット) (R7 @2,928×仕入数3,400セット)	3,694 セット	3,384 セット	△ 310 セット
	決算額(単位:円)	11,712,000	9,955,200	△ 1,756,800
	【内容】全国の飲食店で利用できる食事券の販売。 【増減理由】余暇活動の多様化に伴い、当カードの利用が減少したものとする。 【繰越数】 6年度繰越数 7年度購入数 7年度販売数 8年度繰越数 ジェフグルメカード 476セット 3,400セット 3,384セット 492セット			

6 令和7年度の主な公益目的事業等詳細内容

主な内容		令和6年度 実績(C)	令和7年度 実績(D)	増減(D-C)
テ	映画鑑賞パスポート券 (R6 TOHO @1,500×仕入数3,900枚 SMT @1,400×仕入数 235枚) (R7 TOHO @1,500×仕入数4,400枚 SMT @1,500×仕入数 249枚)	4,135 枚	4,649 枚	514 枚
	決算額(単位:円)	6,179,000	6,973,500	794,500
	【内容】一般販売価格よりも低廉な映画鑑賞パスポート券の販売。 【増減理由】人気の高い映画作品が増加したことで、販売数が増加したものとする。			
ト	足立の花火有料席 (R6 チケット発行手数料 66,000円) (R7 チケット発行手数料 38,500円)	開催中止	開催中止	0 枚
	決算額(単位:円)	66,000	38,500	△ 27,500
	【内容】「足立の花火」有料席の販売。 【増減理由】令和7年度は100枚を販売し完売したが、前年度に続き荒天のため開催中止。チケット発行手数料は払い戻しがないため経費となった。			
ナ	各種イベントチケットの販売	1,203 枚	2,048 枚	845 枚
	決算額(単位:円)	5,086,080	7,583,930	2,497,850
	【内容】水族館、夏休み子ども向けイベント等のチケットの販売。 【増減理由】「ルミネtheよしもと鑑賞券」及び「温泉&食事チケット」事業を本事業に統合した。また、前年度実施したスパラクーア、横浜アンパンマンこどもミュージアム等人気のチケットに加え、新規に、あらかわ遊園、東京豊洲万葉倶楽部等のチケットを販売し、販売数が増加した。			
ニ	観劇・コンサートチケットの販売	1,680 枚	2,063 枚	383 枚
	決算額(単位:円)	15,078,118	17,635,486	2,557,368
	【内容】観劇・コンサートチケットの販売。 【増減理由】宝塚歌劇団、劇団四季等の人気のチケットだけでなく、好評の観劇・コンサートが多く、販売数が大幅に増加したものとする。			
ヌ	ルミネtheよしもと鑑賞券の販売 (R6 チケット仕入1,052,400円 貸切公演料 2,250,000円)	778 枚	事業統合	△ 778 枚
	決算額(単位:円)	3,302,400	0	△ 3,302,400
	【内容】「ルミネtheよしもと」を鑑賞できる平日券及び土日祝日券を販売。令和6年度はこれに加えて、特別事業として貸切公演を実施。 【増減理由】「各種イベントチケット」への事業統合に伴う皆減。			
ネ	ディズニーホテル パンケットランチプラン	100 人	96 人	△ 4 人
	決算額(単位:円)	1,550,500	1,527,400	△ 23,100
	【内容】東京ディズニーリゾート内ホテルで、キャラクターとのグリーティングと食事を楽しむイベントを実施。 【増減理由】前年度と同内容にて実施(R7.11.28(金))。なお、会場の都合により参加者数は微減した。			

(6) 財産形成支援事業

決算額（単位：円）		令和6年度 (A)	令和7年度 (B)	増減(B-A)
		0	0	0
主な内容		令和6年度 実績(C)	令和7年度 実績(D)	増減(D-C)
ア	財形貯蓄（一般・住宅・年金）	36 人	33 人	△ 3 人
	決算額（単位：円）	0	0	0
	【内容】財形貯蓄のための代行事務（事業所からの集金及び金融機関への送金）。 【増減理由】平成29年度より新規募集は停止。積立期間満了に伴い利用者数は減少している。			

(7) 生活産業広報紙発行事業

決算額（単位：円）		令和6年度 (A)	令和7年度 (B)	増減(B-A)
		90,244,737	93,722,088	3,477,351
主な内容		令和5年度 実績(C)	令和6年度 実績(D)	増減(D-C)
ア	生活産業広報紙「トキメキ」の発行 (R6 編集委託費 20,829,600円 印刷製本費 25,301,377円 配布委託費 44,018,060円 事業者選定経費 95,700円) (R7 企画編集委託費 16,711,200円 広告募集作成委託費 3,173,720円 印刷製本費 26,400,085円 配布委託費 47,437,083円)	4,299,300 部	4,371,600 部	72,300 部
	決算額（単位：円）	90,244,737	93,722,088	3,477,351
	【内容】生活産業広報紙「トキメキ」の発行（企画編集、広告募集作成、印刷、配布委託料の支出）。 【増減理由】区内人口増加に伴う配布数の増加により、発行部数が増加した。また物価高騰による印刷単価の増と、人件費増に伴い配布単価が増加したため、経費が増加した。			

6 令和7年度の主な公益目的事業等詳細内容

(8) 加入促進事業

決算額（単位：円）		令和6年度 (A)	令和7年度 (B)	増減(B-A)
		2,041,960	1,399,360	△ 642,600
主な内容		令和6年度 実績(C)	令和7年度 実績(D)	増減(D-C)
ア	「足立の花火」パンフレット及び生活産業広報紙「トキメキ」での会員募集記事の掲載 (R6 「足立の花火」広告協賛金 110,000円) (R7 「足立の花火」広告協賛金 110,000円)	13 回	13 回	0 回
	決算額（単位：円）	110,000	110,000	0
	【内容】「足立の花火」パンフレットに広告を掲載。さらに生活産業広報紙「トキメキ」に会員募集記事を毎月掲載。 【増減理由】増減なし。「トキメキ」には前年度と同様、毎月会員募集記事を掲載するとともに、令和8年1月号及び3月号では、1面及び中面において入会メリットを明解にアピールする特集記事を掲載した。			
イ	SNS、ホームページ等による情報発信 (R6 ギフトカード仕入経費@1,020×100枚) (R7 ギフトカード仕入経費@1,000×100枚)	1,969 人	3,248 人	1,279 人
	決算額（単位：円）	102,000	100,000	△ 2,000
	【内容】新規会員獲得及び会員の利便性向上のため、SNS（X、LINE）及びホームページで定期的に入会メリット情報を発信。特にLINEは、会員への周知から会報誌閲覧、申込までスマホを通じてシームレスに行えるメリットがあるため、登録者数増加を目指し、クイズに答えた登録者から抽選でギフトカードをプレゼントする企画を実施。実績値はXフォロワー数及びLINEお友だち登録者数の合計。 【増減理由】定期的な情報発信に努め、令和7年度末現在のXのフォロワー数（384人・前年度比+40人）は増加。また、会報誌での周知及びギフトカードプレゼント企画の実施により、LINEお友だち数（2,864人・前年度比+1,239人）も増加した。			
ウ	入会案内、チラシ等の作成	6,000 部	6,000 部	0 部
	決算額（単位：円）	1,829,960	1,036,360	△ 793,600
	【内容】入会希望者へ配付する入会案内の制作及び印刷、入会キャンペーン期間中に駅チラシラック等で配布するチラシ等の制作及び印刷。 【増減理由】令和7年度は、前年度にマンガ形式にリニューアルした入会キャンペーンチラシ及び入会案内原稿を再利用して制作したため、経費が減少した。			
エ	会員向け事業に関する意見・希望調査の実施 (R7 @1,020×150枚)	未実施	661 人	661 人
	決算額（単位：円）	0	153,000	153,000
	【内容】事業の改善及び新規企画の参考とするため、会員向けに事業に関する意見・希望調査を実施し、回答者に抽選でギフトカードをプレゼント。指標はアンケート回答者数。 【増減理由】令和7年度新規実施による増。			

(9) その他の事業

決算額（単位：円）		令和6年度 (A)	令和7年度 (B)	増減(B-A)		
		14,863,256	14,575,712	△ 287,544		
主な内容		令和6年度 実績(C)	令和7年度 実績(D)	増減(D-C)		
ア	給付事業	1,379 件	1,321 件	△ 58 件		
	決算額（単位：円）	14,863,256	14,575,712	△ 287,544		
	【内容】 祝金（結婚等、出産、入学、還暦等）、弔慰金等の給付。 【増減理由】 給付実績の減 (単位：件)					
	種別	給付金名称	金額等	R6	R7	前年差
	祝金	結婚等	20,000円	79	64	△15
		二十歳	10,000円	6	3	△3
		還暦	10,000円	237	258	21
		出産	10,000円	97	78	△19
		入学（小学校）	10,000円	228	200	△28
		入学（中学校）	10,000円	311	357	46
	死亡弔慰金	会員	50,000円	14	18	4
		家族	配偶者：20,000円 子・親：10,000円	214	195	△19
	見舞金	入院	10,000円	57	50	△7
		障害	20,000円	9	6	△3
		住宅災害	10,000円	3	0	△3
	長寿記念品（満75歳時・新米食べ比べセット）			124	92	△32
	合計			1,379	1,321	△58

7 収支決算

7 収支決算(正味財産増減計算ベース)

I 一般正味財産増減の部

1. 経常増減の部

(1) 経常収益

公益目的事業会計・収益事業等会計・法人会計

単位：円

科 目	令和6年度 決算額(A)	令和7年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
基本財産運用益				基本財産の運用益
基本財産受取利息 <1>	2,961,392	3,464,000	502,608	利息収入 3,464,000円 [地方債運用収入増 502,608円]
基本財産運用益計 <2>	2,961,392	3,464,000	502,608	
特定資産運用益				特定資産の運用益
特定資産運用益 <3>	151,329	201,045	49,716	利息収入 201,045円 [定期預金利息増 49,716円]
特定資産運用益計 <4>	151,329	201,045	49,716	
受取入会金会費				会員の入会金及び会費収入
受取入会金会費 <5>	62,576,150	61,035,106	△ 1,541,044	
受取入会金 <6>	117,200	106,000	△ 11,200	入会金収入 106,000円 (@200円×530人分) [入会金無料キャンペーン実施に伴う減 △11,200円]
受取会費 <7>	62,458,950	60,929,106	△ 1,529,844	会費収入 60,929,106円 (年間6,000円×約10,155人分) [会員数減少に伴う減 △1,529,844円]
受取入会金会費計 <8>	62,576,150	61,035,106	△ 1,541,044	
事業収益				
生活安定事業収益 <9>	35,007,447	39,823,290	4,815,843	カード・産地直送品等販売収益 区内商品券等販売収入 26,877,600円 [販売数の増 2,521,680円] 産地直送販売収入 12,945,690円 [販売数の増 2,294,163円]
健康維持増進事業収益 <10>	8,567,990	7,662,500	△ 905,490	健康診断受診料、回数券等販売代金の収益 日曜健康診断受診料 0円 [事業内容変更による減 △510,290円] 公衆浴場回数券等販売収入 7,662,500円 [販売数の減 △395,200円]
老後生活安定事業収益 <11>	25,300	0	△ 25,300	セミナー参加費の収益 ライフプランセミナー参加費 0円 [参加費無料に伴う減 △25,300円]

7 収支決算

単位：円

科 目	令和6年度 決算額(A)	令和7年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
自己啓発事業収益 <12>	7,430,100	7,466,900	36,800	チケット販売代金、研修参加費の収益 図書カード・美術展等チケット等の 販売収入 7,438,300円 [販売数の増 34,600円] 若手社員研修参加費 28,600円 [参加費単価の増 2,200円]
余暇活動事業収益 <13>	49,065,900	51,465,200	2,399,300	チケット販売代金、参加費の収益 東武動物公園等レジャー施設チケット 販売収入 11,894,800円 [販売数の増 1,102,600円] プロ野球チケット販売収入 0円 [事業統合による減 △555,000円] 各種スポーツ観戦チケット販売収入 1,862,300円 [事業統合による増 712,100円] 国立演芸場入場券販売収入 48,000円 [販売数の増 32,600円] 潮干狩り券販売収入 464,800円 [販売数の減 △14,000円] ジェフグルメカード販売収入 9,136,800円 [販売数の減 △837,000円] 映画鑑賞券スポーツ券販売収入 6,033,500円 [販売数の増 681,500円] 「足立の花火」有料席販売収入 0円 [大会中止により増減なし] 温泉&食事チケット販売収入 0円 [事業統合による減 △1,540,000円] 各種イベントチケット販売収入 5,892,800円 [販売数の増 1,741,900円] 観劇コンサートチケット販売収入 15,214,800円 [販売数の増 2,419,200円] ディズニーホテル パンケットランチ プラン参加費 917,400円 [会場都合による参加者減 △27,600円] ルミネtheよしもとチケット収入 0円 [事業統合による減 △1,317,000円]

7 収支決算

単位：円

科 目	令和6年度 決算額(A)	令和7年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
生活産業広報紙発行 事業収益 <14>	90,687,190	93,762,970	3,075,780	生活産業広報紙発行収益 トキメキ記事掲載料 50,575,800円 [記事掲載料単価減 △852,720円] トキメキ広告料 43,187,170円 [広告掲載数の増 3,928,500円]
事業収益計 <15>	190,783,927	200,180,860	9,396,933	
受取補助金 受取区補助金 <16>	38,273,290	40,217,843	1,944,553	人件費、管理運営費に対する区補助金 人件費(職員14人)補助金 9,555,527円 [職員数増に伴う福利厚生費の増 297,042円] 管理費補助金 14,992,309円 [通信運搬費等の増 776,623円] 事業費補助金 15,670,007円 [委託費の増 870,888円]
受取補助金計 <17>	38,273,290	40,217,843	1,944,553	
雑収益 雑収益 <18>	29,386	28,647	△ 739	雑収益 流動資産利息収入等 28,647円 [雑収益の減 △739円]
広告・手数料収益 <19>	1,557,136	1,761,187	204,051	会報誌Fromゆう・利用ガイド 広告料等 1,761,187円 [広告手数料収入の増 204,051円]
雑収益計 <20>	1,586,522	1,789,834	203,312	
経常収益計 <21>	296,332,610	306,888,688	10,556,078	

(2) 経常費用

公益目的事業会計

単位：円

科 目		令和6年度 決算額(A)	令和7年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
棚卸資産	<22>	953,777	△ 499,126	△ 1,452,903	
期首棚卸資産	<23>	6,642,238	5,688,461	△ 953,777	
期末棚卸資産	<24>	△ 5,688,461	△ 6,187,587	△ 499,126	
事業費	<25>	262,813,976	275,062,884	12,248,908	
事業人件費	<26>	3,980,745	4,721,867	741,122	事業課職員（8人）の人件費
福利厚生費	<27>	3,980,745	4,721,867	741,122	共済組合負担金等 4,721,867円 [給与支給総額の増 741,122円]
事業運営費	<28>	25,627,801	26,709,484	1,081,683	事業にかかる管理運営費
旅費交通費	<29>	22,494	0	△ 22,494	近接地外出出張旅費 0円 [出張未実施による減 △22,494円]
通信運搬費	<30>	9,557	18,602	9,045	携帯電話使用料 18,602円 [スマホ機種変更に伴う増 9,045円]
消耗品費	<31>	470,631	694,268	223,637	事業用消耗品 694,268円 [トナーカートリッジ等消耗品の増 223,637円]
印刷製本費	<32>	6,450,691	6,692,514	241,823	利用ガイド・入会案内・ 会報誌印刷等 6,692,514円 [利用ガイド印刷費の増 241,823円]
賃借料	<33>	2,277,564	2,277,564	0	パソコン・福祉共済システム 機器のリース料 2,277,564円 [増減なし]
支払手数料	<34>	1,062,302	994,493	△ 67,809	会費振替振込手数料等 994,493円 [振替振込件数の減 △67,809円]
委託費	<35>	14,021,854	14,579,849	557,995	会報誌配送委託、窓口業務 委託費等 14,579,849円 [会報誌配送等委託費等の増 557,995円]
租税公課	<36>	1,312,708	1,452,194	139,486	消費税・地方消費税 1,452,194円 [課税額の増 139,486円]
生活安定事業費	<37>	38,570,376	46,006,541	7,436,165	生活安定事業にかかる経費
主催事業費	<38>	38,546,837	45,969,922	7,423,085	区内商品券等仕入経費 31,323,560円 [売上数の増 5,116,580円] 産地直送仕入経費 14,646,362円 [売上数の増 2,306,505円]
信用保証料	<39>	23,539	36,619	13,080	生活資金融資あっせん信用保証料 36,619円 [融資金額の増 13,080円]
健康維持増進事業費	<40>	22,836,380	21,400,580	△ 1,435,800	健康維持増進事業にかかる経費
印刷製本費	<41>	0	0	0	健診利用承認書の印刷経費 0円

7 収支決算

単位：円

科 目	令和6年度 決算額(A)	令和7年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
負担金 <42>	2,046,000	1,826,000	△ 220,000	スポーツクラブ 法人会員年会費 1,826,000円 [販売数の減 △220,000円]
利用補助費 <43>	12,184,600	11,935,160	△ 249,440	健康診断、人間ドックの利用補助 8,768,000円 [利用実績の減 △244,000円] 健康ランドの利用補助 2,119,160円 [利用実績の増 25,560円] インフルエンザ 予防接種費用補助 1,048,000円 [補助数の減 △31,000円]
主催事業費 <44>	8,605,780	7,639,420	△ 966,360	日曜健康診断経費 0円 [事業内容変更による減 △750,750円] 公衆浴場回数券等仕入経費 7,639,420円 [販売数の減 △215,610円]
老後生活安定事業費 <45>	881,447	165,000	△ 716,447	老後生活安定事業にかかる経費
主催事業費 <46>	881,447	165,000	△ 716,447	ライフプランセミナー実施経費 165,000円 [講演内容変更による減 △716,447円]
自己啓発事業費 <47>	8,284,435	8,691,966	407,531	自己啓発事業にかかる経費
利用補助費 <48>	267,000	249,000	△ 18,000	文化教養講座、資格取得等補助 249,000円 [利用実績の減 △18,000円]
主催事業費 <49>	8,017,435	8,442,966	425,531	鑑賞教室・美術展等仕入経費 4,204,266円 [販売数の増 728,531円] 図書カード仕入経費 4,103,400円 [販売数の減 △293,100円] 若手社員研修経費 135,300円 [参加人数の減 △9,900円]
余暇活動事業費 <50>	70,333,095	72,237,598	1,904,503	余暇活動事業にかかる経費
負担金 <51>	5,423,900	4,607,000	△ 816,900	法人会員年会費 4,607,000円 [チケット販売数の減 △816,900円]
委託費 <52>	0	576,000	576,000	グランリゾート施設管理委託費 576,000円 [支払時期変更に伴う増 576,000円]
利用補助費 <53>	9,837,300	10,301,530	464,230	指定レジャー施設利用補助 484,400円 [利用数の減 △59,200円] 東京デイズニースリゾート利用補助 3,183,000円 [利用数の増 41,000円] 食事チケット 774,530円 [利用数の増 100,830円] 宿泊施設利用補助 5,198,000円 [利用数の増 12,000円]

7 収支決算

単位：円

科 目	令和6年度 決算額(A)	令和7年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
主催事業費 <54>	54,291,733	55,972,906	1,681,173	あっせん日帰りバスツアー補助 407,500円 [利用数の増 115,500円] 東京湾ランチクルーズ補助 254,100円 [新規実施増 254,100円] 東武動物公園チケット仕入経費 9,240,000円 [販売数の増 2,640,000円] プロ野球チケット仕入経費 0円 [事業統合による減 △647,800円] 各種スポーツ観戦チケット仕入経費 2,305,210円 [事業統合による増 918,935円] 国立演芸場入場券仕入経費 49,680円 [販売数の増 30,320円] 潮干狩り券仕入経費 664,000円 [販売数の減 △54,200円] ジェフグルメカード仕入経費 9,955,200円 [販売数の減 △1,756,800円] 映画鑑賞券仕入経費 6,973,500円 [販売数の増 794,500円] 「足立の花火」有料席仕入経費 38,500円 [チケット発行手数料の減 △27,500円] 温泉&食事チケット仕入経費 0円 [事業統合による減 △1,365,000円] 日本料理加賀屋食事券仕入経費 0円 [事業統合による減 △581,000円] 各種イベントチケット仕入経費 7,583,930円 [販売数の増 2,497,850円] 観劇コンサートチケット仕入経費 17,635,486円 [販売数の増 2,557,368円] ルミネtheよしもと仕入経費 0円 [貸切公演休止及び事業統合による減 △3,302,400円] ディズニーホテル パンケットランチ プラン経費 1,527,400円 [参加者数の減 △23,100円] ザ グランリゾート エレガンテ 伊豆・建物共有持分の減価償却
減価償却費 <55>	780,162	780,162	0	
財産形成事業費 <56>	0	0	0	
印刷製本費 <57>	0	0	0	

7 収支決算

単位：円

科 目	令和6年度 決算額(A)	令和7年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
生活産業広報紙発行 事業費 <58>	90,244,737	93,722,088	3,477,351	生活産業広報紙「トキメキ」発行経費
委託費 <59>	90,244,737	93,722,088	3,477,351	企画編集委託費 16,711,200円 [委託費の減 △4,118,400円] 広告募集・作成委託費 3,173,720円 [業務分割に伴う増 3,173,720円] 印刷委託費 26,400,085円 [印刷単価・部数の増 1,098,708円] 配布委託費 47,437,083円 [配布単価・世帯数増 3,419,023円] 事業者選定経費 0円 [未実施に伴う皆減 △95,700円]
加入促進事業費 <60>	2,041,960	1,399,360	△ 642,600	加入促進に係る事業費
加入促進事業費 <61>	2,041,960	1,399,360	△ 642,600	「足立の花火」協賛金 110,000円 [増減なし] LINE登録者拡大企画経費 100,000円 [経費の減 △2,000円] 入会案内・入会キャンペーンチラシ 等制作・印刷経費 1,036,360円 [経費の減 △793,600円] 会員向け事業意見調査経費 153,000円 [新規実施増 153,000]
雑費 <62>	13,000	8,400	△ 4,600	雑費
雑費 <63>	13,000	8,400	△ 4,600	チケット未収金損失処理等
公益・事業費計 <64>	263,767,753	274,563,758	10,796,005	

(2) 経常費用

収益事業等会計

単位：円

科 目	令和6年度 決算額(A)	令和7年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
事業費				
事業人件費 <65>	209,513	248,519	39,006	事業課職員(8人)の人件費(※)
福利厚生費 <66>	209,513	248,519	39,006	給付事業に係る職員の共済組合 事業主負担金配賦分(※)
事業運営費 <67>	1,258,583	1,321,567	62,984	事業に係る管理運営費(※)
通信運搬費 <68>	503	979	476	給付事業に係る携帯電話利用料配賦分(※)
消耗品費 <69>	24,770	36,540	11,770	給付事業に係る事業用消耗品配賦分(※)
印刷製本費 <70>	339,510	352,238	12,728	給付事業に係る印刷経費配賦分(※)
賃借料 <71>	119,872	119,872	0	給付事業に係るパソコン等賃借料配賦分(※)
支払手数料 <72>	35,935	44,578	8,643	給付事業に係る会費振替振込手数料配賦分(※)
委託費 <73>	737,993	767,360	29,367	給付事業に係る窓口業務委託費等配賦分(※)
生活安定事業費 <74>	14,863,256	14,575,712	△ 287,544	
給付金 <75>	14,863,256	14,575,712	△ 287,544	会員等への給付金 14,575,712円 給付実績の減 △287,544円
				(※)「収益事業等会計」における 「事業人件費」及び「事業運営 費」の金額は、「事業人件費」及 び「事業運営費」経費全体の5% を按分して計上しているものであ り、「主な増減理由」は公益目的 事業会計のそれと同一であるた め記載を省略した。
収益・事業費計 <76>	16,331,352	16,145,798	△ 185,554	

7 収支決算

(2) 経常費用

法人会計

単位：円

科 目	令和6年度 決算額(A)	令和7年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
管理費				
人件費 <77>	5,068,227	4,585,141	△ 483,086	総務課職員（6人）の人件費
福利厚生費 <78>	5,068,227	4,585,141	△ 483,086	総務課職員の共済組合負担金等 4,585,141円 [給与支給総額の減 △483,086円]
管理運営費 <79>	14,215,686	14,992,309	776,623	組織運営に係る管理運営費
会議交通費 <80>	213,000	294,000	81,000	役員・評議員の費用弁償 294,000円 [理事会等開催回数増 81,000円]
旅費交通費 <81>	166,564	131,124	△ 35,440	職員出張旅費 131,124円 [出張回数の減 △35,440円]
通信運搬費 <82>	3,277,872	4,347,892	1,070,020	電話料金、郵送費等 4,347,892円 [郵送費の増 1,070,020円]
消耗品費 <83>	1,033,065	778,137	△ 254,928	コピー機・FAX・事務用消耗品 778,137円 [コピー等消耗品の減 △254,928円]
賃借料 <84>	3,028,820	2,773,620	△ 255,200	オフィス家具・事務機器等賃借料 2,773,620円 [オフィス家具リース料等の減 △255,200円]
保険料 <85>	217,266	231,096	13,830	動産総合保険、労災保険等 231,096円 [保険料の増 13,830円]
租税公課 <86>	158,550	215,100	56,550	収入印紙経費 215,100円 [契約用収入印紙の増 56,550円]
負担金 <87>	242,000	242,000	0	全福センター年会費等 242,000円 [増減なし]
委託費 <88>	3,002,976	2,980,454	△ 22,522	財務会計事務、清掃委託等 2,980,454円 [法律相談料等の減 △22,522円]
支払手数料 <89>	1,815,101	1,863,371	48,270	法務登記・口座振替手数料等 1,863,371円 [NHK放送受信料等の増 48,270円]
交際費 <90>	0	0	0	弔慰金等 0円 [交際費実績なし]
研修費 <91>	13,000	69,168	56,168	職員研修費 69,168円 [受講研修回数増 56,168円]
光熱水費 <92>	1,047,472	1,066,347	18,875	事務所の電気・水道料金 1,066,347円 [産業センター光熱水費の増 18,875円]
管理費計 <93>	19,283,913	19,577,450	293,537	

I 一般正味財産増減の部

2. 経常外増減の部

(1) 経常外収益

(2) 経常外費用

公益目的事業会計・収益事業等会計・法人会計

単位：円

科 目	令和6年度 決算額(A)	令和7年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
(1)経常外収益				
経常外収益計 <94>	0	0	0	経常外収益なし 増減なし
(2)経常外費用				
経常外費用計 <95>	0	0	0	
当期経常外増減額 <96>	0	0	0	

単位：円

科 目	令和6年度 決算額(A)	令和7年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
経常収益計 <97>	296,332,610	306,888,688	10,556,078	
経常費用計 <98>	299,383,018	310,287,006	10,903,988	
経常外収益計 <99>	0	0	0	
経常外費用計 <100>	0	0	0	
当期一般正味財産増減額 <101>	△3,050,408	△3,398,318	△347,910	
一般正味財産期首残高 <102>	252,295,987	249,245,579	△3,050,408	
一般正味財産期末残高 <103>	249,245,579	245,847,261	△3,398,318	

II 指定正味財産増減の部

単位：円

科 目	令和6年度 決算額(A)	令和7年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
当期指定正味財産増減額 <104>	0	0	0	
指定正味財産期首残高 <105>	500,000,000	500,000,000	0	
指定正味財産期末残高 <106>	500,000,000	500,000,000	0	

III 正味財産期末残高

単位：円

科 目	令和6年度 決算額(A)	令和7年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
正味財産期末残高 <107>	749,245,579	745,847,261	△3,398,318	